

場所

野串の中心部に位置する場所に敷地を選定した。

野串集落では家が少なく、夜になれば星が空一面に広がる。
この建築は光を天井から逃がすことで、おのずと夜空へ視線が向ける。
この建築に暮らす家族、集落に住む家族、集落に住む人々が同じ視線を向き、
一体となる時間を作り上げる。



敷地面積 635㎡
延べ床面積 125㎡

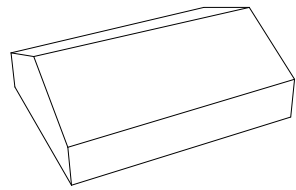
「ヒト屋根」

ヒトは家にいるとき部屋の用途によって、行為を変えていく。
にもかかわらず今までの建築では、部屋ごとの行為を有意義に行える
形態になっていることが少ない。

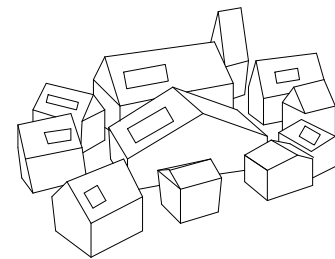
本計画では、部屋ごとの行為を最大限に引き出せるように計画する。

本計画は人間の根源的なもの、身体的な行為、身近な環境から形成される。ヒトとい内的要素か
ら建築が形成されることで、これまでの建築の形態は壊れ、ヒトと建築との距離がより近づく。
そのことで一般人からも共感される建築になる。

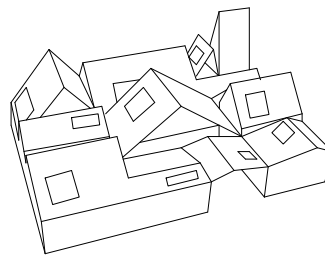
また、敷地周辺には切妻屋根や寄棟屋根がほとんどである。それに対してこの建築は切妻屋根の
連続で周囲との調和を図りながらも、既視感のない力強い建築になっている。



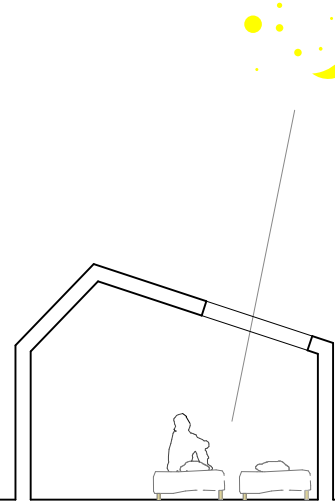
イエガタボリュームを与えられた面積で配置する



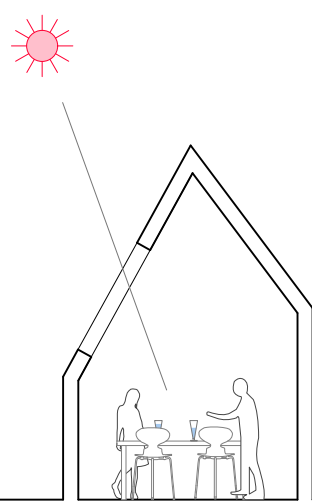
ボリュームをイエガタのまま各用途ごとに振り分け、
それぞれ適当に勾配や開口を付ける



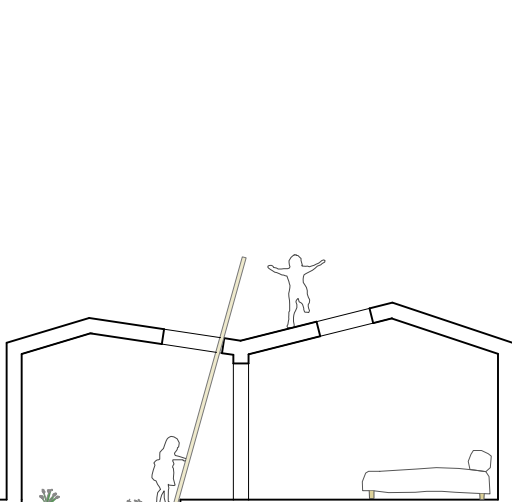
振り分けたイエガタのボリュームをまとめて一つにし、
住宅としての機能を持たせる



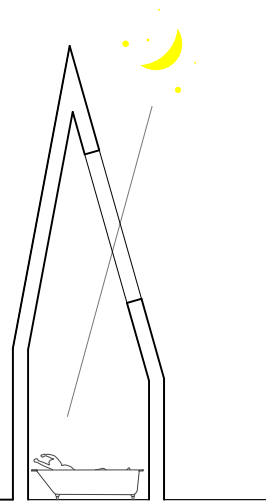
夫婦の部屋
主に就寝時に使用する。
ベッドに横になるときに夜空の星がながめられる。



食事の部屋
食事をとるとき、食卓が直接光に照らされる。



子供の部屋
隣接した中庭から比較的勾配の緩やかな屋根の上に登って遊ぶ。



お風呂の部屋
浴槽に浸かりながら、
夜空の星をながめる。

